

日本共産党がみなさんにお届けします

島本民報

2016年1月31日号 (通巻 第1393号)

発行：日本共産党・島本町委員会
TEL・FAX 962-4003

【連絡先】
かわの恵子 水無瀬2-3-3-506
☎ 962-1708
メール：k3kawano@yahoo.co.jp
佐藤かずこ 若山台1-2-48
☎ 962-6103
メール：satokiki0815@yahoo.co.jp

川口町長に 2016年度予算要望書を提出

安倍自公政権のもと、国民の生活はますます厳しさを増しています。島本町にとっても、消費税8%増税と食料の物価高騰の影響による小学校給食費の値上げの動き等、子育て・教育への負担増は計り知れませんが、2016年度予算編成と、町政運営にあたり、日本共産党町会議員団は1月8日、町長に対し30項目にわたる要望書を提出しました。



川口 裕町長に予算要望書を手渡す河野恵子、佐藤和子町会議員 (1月8日)

暮らしや福祉の充実を図ること

○地下水中心の水道、まずは飲み水100%をめざし、企業団水道の受

- 水量をさらに減らすこと
- 町のごみ処理の広域化をすすめること
- 清掃工場及び衛生化学処理場の広域行政等の議論やこの間の経緯について、及び第三小学校耐震化についての住民説明会を開催すること
- JR島本駅西側地区のみでなく、町全域でブロック別・まちづくり懇談会を開催し、防災・バリアフリー及び、商工業活性化などの議論に取り組むこと
- 国民健康保険の保険料連続値上げストップ、一般会計からの繰り入れの検討とともに、特定検診の充実・人間ドック助成など、予防に力を入れること

(裏面につづく)

若者の希望をひろく政治を
みんなの力で

ゆい
わたなべ 結

日本共産党大阪府委員会
青年学生委員会責任者

わたなべ結サイト：<http://www.watanabeyui.net/>



○介護保険料・利用料の独自減免制度を作ること

○介護認定で要支援1から要介護1までの人もタクシー移送サービスを受けられるようにすること。また、チケット制など、使いやすい制度にすること

子育て支援や教育の充実を図ること

○教職員を増員し、35人以下学級を実現すること。支援学級の児童が元学級に戻って授業を受ける際に40人を超えることのない学級編成をすること

○子ども医療費の助成を増やして、通院も入院も中学卒業まで、所得制限なしで実施すること

○町立保育所保育士の正規職員の採用を増やすこと。臨時職員の待遇改善や、過密化にかかる施設設備の改善を図ること

(その他二項目)

国や大阪府等に要望すること

- JR山崎駅のエレベーター設置などバリアフリー対策を推進すること
- 西谷踏切を大型車両の通行が可能になるよう改善すること
- 河川の浚渫や山林の保全、落石防止など防災予算の増額に努めること
- 府道西京高槻線水無瀬橋付近の交差点、府道柳谷島本線指手橋交差点の信号機等をLED化し、見やすいものにする



水無瀬川は時間雨量50ミリ対応はできていますが、80ミリ対応にはする必要があります。特にJR線から下流域は川幅も狭いうえ、土砂が溜まると流れが悪くなるため、浚渫が必要です。

○町道東大寺水無瀬鶴ヶ池線の名神高速道路高架下交差点に信号機や横断歩道設置など歩行者の安全を図ること



この2月、日本共産党国会議員団が政府各省庁交渉に取り組みます。私、わたなべ結も大阪から、島本の皆さんの願いの先頭にたって取り組みます。

日本共産党島本のホームページをぜひご覧ください。

日本共産党しまもとカクサン部 で検索を

